

特記仕様書

1. 業務名

下水委第 17 号 下水道管渠修正設計委託業務

2. 業務の目的

本業務は、令和 5 年度に設計を実施した海津市海津町五町地内の下水道管渠詳細設計委託業務の一部を開削工法から推進工法への見直しを行う設計業務である。施工方法の比較検討を行い、下水道管渠布設工事に必要となる適切な詳細図面の作成及び工事数量を算定することを目的とする。

3. 業務場所

海津市海津町五町地内

4. 業務内容

1) 業務計画

業務の目的、主旨を把握したうえで、業務概要、実施方針、工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書を作成する。

2) 下水道施設設計（開削工法、推進工法、マンホール形式ポンプ場）

① 調査（資料収集、現地踏査、現地作業）

資料と現地の整合性等を目視により確認するために、現地踏査を実施する。現在の道水路の状況、地形、地質、占用工作物等の周辺条件の把握や施工性の判断に必要な現地状況の把握も行う。

② 設計計画

既存の設計方針を理解した上で、現地状況を踏まえて適切な管きよの占用位置及びマンホール位置を計画する。

水路の下越し等については、海津市の地盤・地質の特性を十分に考慮したうえで、基礎形式等を踏まえた施工方法の検討を行う。

③ 各種計算、耐震設計

各種計算：管きよ、管基礎、仮設工法等の計算を行う。

耐震設計：地盤条件、管きよ条件を設定し、液状化の判定、マンホールと管きよの接続部及び管きよと管きよの継手部の計算、マンホール本体の計算を行う。推進のみ対象としてレベル 1, 2 地震動とする。

④ 設計図作成、数量計算

工事発注に必要な設計図（平面図、縦横横断面図、構造図等）、数量計算書（管布設、土工、マンホール、ます、仮設等）の作成をする。

⑤ 照査

設計計画の妥当性、各種計算の適切性、各種設計図の適切性、各種計算と設計図の整合性を照査する。

3) 報告書作成

基本設計、設計内容及び検討結果を整理した報告書を作成する。

4) 設計協議

本業務の設計協議は、業務着手時、中間 1 回、成果品納品時の 3 回とする。但し、必要な場合は監督員の指示により適宜追加実施する。

5. 調査に対する協力

本業務及び海津市下水道事業について、発注者ならびに国、県等が実施する調査が対象となった場合、受注者は必要事項を正確に記入し発注者に提出する等、必要な協力を行う。また、本業務の工期経過後においても同様とする。

6. 管理技術者

管理技術者は、総合技術管理部門技術士（下水道）、技術士（下水道）又は下水道法に規定された資格を有する者で、継続して 10 年以上管きょ設計に従事した者。

7. 貸与資料

以下の資料を貸与する。

- ・既存の五町地内の下水道管詳細設計委託業務の成果品

8. 成果品

成果品は以下のとおりとする。

- ・報告書(A4 版) 1 部
- ・図面(A3 縮小版) 1 部
- ・電子媒体(CD-R 等) 2 部（正副各 1 部）
- ・CAD データは SFC 形式及び JWW 形式とする。